対策等の説明がありました。

特別講演では、「大腸がんについて」と題して、沖縄県立宮古病院消化器外科部長の浅野志麻氏より、早期発見のための健診受診や検査内容などの講話が行われました。

城間陸災防沖縄県支部宮古分会が読み上げた大会宣言を採択し、労働基準協会宮古支部安全衛生部会、建災防沖縄宮古分会 SP 会を筆頭に参加者全員でスローガンに向かい指差唱和を行い労働衛生の意識を高めました。

八重山地区

9月6日、石垣市市民会館中ホールにて令和5年度八重山地区労働衛生大会を行い、70事業所87名が参加しました。

八重山地域産業保健センターの上原代表の開会挨拶の後、八重山支部安全衛生部会員を代表に、参加者全員で指差唱和を行いました。

共催者を代表して宮良博文八重山支部長は、「全ての方が安心して働ける快適職場づくりが重要。健康を最優先にする職場環境のより一層の推進を」と呼び掛けました。

渋谷雄太八重山労働基準監督署長、前泊八重山市町会副会長及び長濱沖縄県八重山事務所長の代理の嘉数班長から来賓挨拶があり、渋谷八重山監督署長からは、「沖縄県の定期健康診断の有所見率は12年連続最下位で、八重山地区は令和2年の 72.9%をピークに2年連続で減少し昨年は 63.7%で沖縄県全体を大きく下回る結果となったが、全国平均よりはなお 5.4 ポイント大きい。血中脂質や血圧、肝機能など、生活習慣に起因すると考えられる項目が高い割合を示しており、改善には労働者一人一人の日頃の健康管理が非常に重要である。自らの健康管理に努めて頂くと共に、事業者としての取り組みも行って頂きたい。八重山地区の業務上疾病の発生状況は、この３年間では、腰痛などの動作の反動・無理な動作が 17 人と全体の６割を占めていることと、熱中症が４人発生してうち２人が亡くなっていることが特徴として挙げられる。」旨のあいさつがありました。

田村八重山監督署労働基準監督官からは、全国労働衛生週間の取組み、石綿等の法改正についての説明がありました。

特別講演では、沖縄県八重山病院腎臓内科部長宮里均先生による「八重山の透析と健康問題について」と題した講演が行われました。

大会宣言は、建災防沖縄県支部八重山分会の平良聡副分会長により読み上げられ、参加者全員の総意により採択されました。

最後に建災防沖縄県支部八重山分会の米盛分会長が閉会挨拶し「心身ともに健康で快適な職場づくりを目指し、労働者の健康確保にさらに取組んで行きましょう。」と呼びかけ閉会しました。

事業者の皆さまへ

第74回 全国労働衛生週間

2023（令和5）年10月1日(日)～7日(土)［準備期間：9月1日～30日］

全国労働衛生週間スローガン

目指そうよ二刀流
こころとからだの健康職場

誰もが安心して健康に働ける職場づくりへのご協力をお願いします！

「全国労働衛生週間」は、労働者の健康管理や職場環境の改善など『労働衛生』に関する国民の意識を高め、職場の自主的な活動を促して労働者の健康を確保することを目的として毎年実施しています。

準備期間（9月1日～30日）に実施する事項

重点事項をはじめとして、日常の労働衛生活動の総点検を行いましょう
- 過重労働による健康障害防止対策
- 職場におけるメンタルヘルス対策
- 職場における転倒・腰痛災害の予防対策
- 化学物質による健康障害防止対策
- 石綿による健康障害防止対策
- 職場の受動喫煙防止対策
- 治療と仕事の両立支援対策
- 職場の熱中症予防対策の推進
- テレワークでの労働者の作業環境、健康確保
- 小規模事業場における産業保健活動の充実
- 女性の健康課題への取組

全国労働衛生週間（10月1日～7日）に実施する事項
- 事業者または総括安全衛生管理者による職場巡視
- 労働衛生旗の掲揚およびスローガンなどの掲示
- 労働衛生に関する優良職場、功績者などの表彰
- 有害物の漏えい事故、酸素欠乏症などによる事故など緊急時の災害を想定した実地訓練などの実施
- 労働衛生に関する講習会・見学会などの開催、作文・写真・標語などの掲示
- その他労働衛生の意識高揚のための行事などの実施

主　唱　厚生労働省、中央労働災害防止協会
協　賛　建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会

厚生労働省　都道府県労働局・労働基準監督署

取り組みには、以下の情報や支援をご活用ください。

産業保健活動総合支援

産業保健総合支援センターは、産業保健活動を支援するため、企業への訪問指導や相談対応、研修などを実施しています。
地域産業保健センター（地産保）では、小規模事業場を対象に、医師による健康相談などを実施しています。
また、事業主団体等を通じて、中小企業等の産業保健活動の支援を行う「団体経由産業保健活動推進助成金」による支援も実施しています。

■産業保健総合支援センター（さんぽセンター）
https://www.johas.go.jp/shisetsu/tabid/578/Default.aspx
■団体経由産業保健活動推進助成金
https://www.johas.go.jp/sangyouhoken/tabid/1251/Default.aspx

メンタルヘルス対策

職場でのメンタルヘルス対策に関する法令・通達・マニュアル、「ストレスチェック実施プログラム（無料）」を掲載しています。
https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei12/
メール・電話・SNS相談窓口を設置し、メンタルヘルス対策の取組事例などを紹介しています。
■働く人のメンタルヘルスポータルサイト「こころの耳」
https://kokoro.mhlw.go.jp/

治療と仕事の両立支援

治療と仕事の両立支援のガイドラインや企業の取り組み事例、シンポジウムなどの総合的な情報を紹介しています。
■治療と仕事の両立支援ナビ
https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp

化学物質管理

化学物質のラベル・SDSの作成、危険有害性に応じたリスクアセスメントを着実に実施するための情報を提供しています。
■職場のあんぜんサイト
http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/kagaku_index.html

転倒・腰痛予防対策

「いきいき健康体操」（監修：松平浩）
■動画
https://www.mhlw.go.jp/content/000895038.mp4
■解説書
https://www.mhlw.go.jp/content/kaisetu.pdf

SAFEコンソーシアム

「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」※ に加盟し安全衛生の取り組みを社内外にPRしましょう！
※増加傾向にある転倒・腰痛などの労働災害について、顧客や消費者も含めたステークホルダー全員で解決を図る活動体です。趣旨に賛同した企業、団体でコンソーシアムを構成し、労働災害問題の協議や、加盟者間の取り組みの共有、マッチング、労働安全衛生に取り組む加盟メンバーの認知度向上などをサポートします。
■SAFEコンソーシアムポータルサイトはこちら（サイト内から加盟申請もできます）
https://safeconsortium.mhlw.go.jp/

高年齢労働者の健康づくり

高齢者が安心して安全に働ける職場環境の実現に向けた取り組みを進めましょう。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/newpage_00007.html

働き方改革

時間外労働の削減や年次有給休暇取得促進など働き方改革の推進に役立つ情報を紹介しています。
■働き方の現状が把握できる「自己診断」等（働き方・休み方改善ポータルサイト）
https://work-holiday.mhlw.go.jp/
■各種助成金や無料相談窓口の紹介等（働き方改革特設サイト）
https://hatarakikatakaikaku.mhlw.go.jp/top

労働安全衛生調査

事業所が行っている安全衛生管理や、そこで働く労働者の不安やストレスなど心身の健康状態についての調査結果を公表しています。
安全衛生管理の参考資料として活用するとともに、調査対象となった際のご協力をお願いします。
https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/list46-50_an-ji.html

その他

■職場における熱中症予防情報
https://neccyusho.mhlw.go.jp/
■職場における受動喫煙防止対策
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/kitsuen/index.html
■労働基準監督署等への届出は電子申請が便利です！
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000184033.html

令和５年度『沖縄県産業安全衛生大会』

開催日時：令和5年10月13日(金)14:00～

開催場所：ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城（那覇市）